



よこはま プロバス通信

No39 2024年12月発行

<https://yokohamaiprobus.web.fc2.com/TR3.html>

ユーチューブチャンネル [purobusyokohama](https://www.youtube.com/channel/purobusyokohama)

情報委員会・編集委員

発行所:事務局内

横浜市金沢区並木3-3-10-204

松下方 045-784-6549



～三菱みなとみらい技術館を訪問～

移動例会（第264回例会 10月11日）



保谷会長

《会長挨拶》

本日は大勢の方に元気で移動例会ご出席いただき、ありがとうございます。この地は横浜博覧会が開催された地であり、何もないゼロからの大規模の事業であった。今話題の大阪万博もパビリオンの建設が遅れるなど大変な状況のようであるがそれに勝るとも劣らない厳しい環境の中で開催に漕

ぎつけ大成功したと渡辺昭男会員は語っていた。そのような歴史ある「みなとみらい館」の見学、お疲れ様でした。出席者 保谷、持田、内山、森山、加藤豊、松下、富永、荻原、関口、関、樋口、倉嶋康、倉嶋伸、渡辺昭男、大久保、佐藤、岩崎、渡辺敏裕



館内で記念撮影



三菱みなとみらい技術館施設見学して

この施設は三菱重工業株式会社が明日を担う青少年達が科学技術に触れ夢をふくらませることができる場となることを願って1994年6月にオープンした展示施設です。

創業者岩崎彌太郎氏の街造りへの先駆者としてのご活躍に敬意と感謝を申し上げたいと思います。岩崎彌太郎氏は1980年代に東京駅前の何もない空き地を買収し開発して今日の素晴らしい街並みを作りました。

街造りのためには、膨大な経費、行政との調整、市民の理解、企業等との調整など大変な作業、調整、理解が必要であり、その了承の上ではじめて着工し実現できるものです。そのためにご尽力さ

れたことに感謝を申し上げます。

そして横浜市においても街造りに三菱重工業株式会社はご尽力されました。

1989年3月の横浜博覧会開催に向けて、桜木町駅前の70ヘクタールの空地開発のためにご尽力も頂きました。

横浜博覧会終了後、街造りが進められ、国際平和会議場、ランドマークタワー、ホテル、催事場、展示場等が完成し「みなとみらい」の街並みが誕生いたしました。

今回訪問した施設が将来を担う青少年に都市発展の役割を期待して作った施設ということで当日も多くの青少年が訪問しておりました。

会員委員長 渡辺 昭男



第264回 10月移動例会

2024年10月11日（金）会場：見学・三菱みなとみらい技術館を見学その後福琳酒家で例会・懇親会を開催した。

【三菱みなとみらい技術館見学】入場料；高齢者無料・11時；桜木町駅集合 徒歩で移動・11時15分～12時50分 自由見学 ・陸・海・空・宇宙関連展示施設。社会科見学の小学生と共に、深海調査船「しんかい6500」やロケットエンジンの実物、更に巨大な発電用風車（実物部分）などの展示物を楽しく見学した。

【例会】保谷会長から「本日は大勢の方に元気で移動例会ご出席いただき、ありがとうございます。みなとみらい館の見学、お疲れ様でした。この後の懇親会、お楽しみください。」と挨拶があり所定の懸案事項が討議され懇親会となった。

誕生月会員紹介を渡辺昭男会員委員長から10月誕生会員4名（内山会員、小西会員、山田会員、持田会員）が紹介された。会務報告後、11月の特別放談；馬頭琴奏者の田岡峰樹氏（佐藤会員から推薦）の紹介がありました。

松下事務局長から、五所川原全日本総会参加費への補助金が決定し、参加者へ各人2万円返還（補助）することになったとの報告があった。

・海山同好会；BBQ大会は11月10日（日）に変更された。

・パソコン勉強会11月は19日開催に変更。・ボウリング同好会10/25の後にカラオケ同好会開催。11月は22日にボウリング同好会。5時終了、有志は2次会へ



夢のある展示物が沢山あった



見学会の感想や古の桜木町の話で盛り上がりました



和やかに開催された例会・懇親会



横浜グリーンプロバス10周年記念例会

2024年4月18日(木) ホテル・ザ・ノット・ヨコハマ で開催されました。横濱プロバス倶楽部からは 岩城、關口、松下、加藤豊、東野、加藤道子、丹野が参加しました。津田俊行様の『思い出は映画とともに』を大林監督のご協力で監修、ビデオが披露され、1960、70、80、90年代に感動を貰いました。楽しい10周年記念例会でした 最後に以前ヤマユリ会でゴルフをご一緒した寺尾様からまたゴルフやりましょうとお話がありました。(記 関口尚親)



東京多摩プロバス20年記念式典

横濱プロバス倶楽部からは森山顧問、関口会長、加藤豊幹事、松下事務局長 が参加しました。多摩市長の挨拶やタップダンスの披露など市民との交流。にぎやかな素晴らしい会でした。(2024/5/18)



交 流 会



福島プロバスクラブ 第3回吟行会

二本松城（霞が城）跡を訪ねて
2024年5月31日10時に横浜戸塚を平野氏のクラウンで（3日前に転倒し後で知った。手首骨折）。福島に着いたのが4時。それから大歓迎、手作りのちまき、どぶろく、ワインはお土産に頂



きました。関口の大学のポン友にメールを送ったが（まさか来るとは思わづ）先に根本邸に来ていた。すかさず会に推薦。民謡の先生だから 二本松城後公園を散策した後、二本松城報館に集合し昼食後、詩吟の会根本フク先生、福島岳風会会長上田岳美、尺八の橘先生の尺八の演奏が行われたその後、我が岩城全日本プロバス協議会副会長、森山理事がプロバスの意味、関口会長は横濱プロバスの現況の説明を行った。



全日本プロバス協議会総会・五所川原参加の旅

2024年8月8日（木）～8月10日（土） 参加者は保谷、松下、富永、渡辺昭男、渡辺敏裕、森山、持田、平野 樋口、松原、関口、加藤道子、岩城、大久保、内山、荻原（以上16名）東京多摩プロバス（同行4名小林会長、小島幹事、伊藤会員、登坂会員・事務局）福島プロバス（総会と立佞武多見学同行）7名。根本会長は3日間参加。



第1日（8月8日） 集合8時30分東京駅・銀の鈴前集合、9時8分発はやぶさ11号で出発（車中で昼食、飲食で歓談）12時29分新青森駅到着。福島プロバス7人と合流12時45分出発（福島プロバス会員7名も全員貸し切りバスに乗車）総会会場「ホテルプラザマリュー五所川原」へ。14時総会会場着15時から全日本プロバス総会青森大会に参加。総会では、旭川の馬場康博氏が全日本会長に選任され、当クラブ岩城孝子会員ほか3氏が副会長に選任され、また、森山功会員が顧問に再任された。佐々木五所川原市長も参加の総会后16時より、119名を超える参加の懇親会が盛大に行われた。その後待望のねぶた祭りに特設観覧席から鑑賞。その規模の圧巻に感動した。終了後青森市内のホテルにバスで移動。



第2日（8月9日） 10時 ホテル発 津軽半島最北端・竜飛岬へ 11時50分着；強風の中、展望台へ。北海道は残念ながら見えず。北海道新幹線トンネルが下を通る竜飛岬ホテルにて、昼食・中宴会。13時20分 竜飛岬発（バスで移動 4 時間、津軽半島から下北半島へ）15時30分 むつパークホテル（むつ市内）着
夕食懇親会を近所の郷土料理店「楠こう」（くすのきこう）で開催（19時から21時）美味しい郷土料理に舌鼓を打った。



総会会場で横濱プロバス倶楽部メンバー

東京駅銀の鈴で待ち合わせ、張り切って集ったメンバー



特設観覧席でねぶた祭りを鑑賞

楽しかった
青森の旅!



津軽海峡冬景色を絶唱する



第3日（8月10日）8時30分ホテル発・9時から10時
霊場恐山を参観。「宇曽利湖（うそりこ）を取り巻く
白砂の浜は極楽になぞらえられ、硫黄の噴出する
岩肌一体は地獄とされ、信仰と祈りの霊場と伝えら
れてきた」との解説があった（71歳のバスガイドの
久保田さん、アレーと思いましたが今までのガイド
さんの中で一番我々を飽きさせない。お見事）・10

時；大間（下北半島北端・本州最北端）へ移動 11
時半着 11時30分～13時30分 大間マグロの豪華昼食
と展望広場での眺望を楽しみ留守番会員へのお土産
を購入。・バス移動16時15分七戸十和田駅着16時53
分発はやぶさ号（盛岡駅にて6分の停車時間で急遽
全員の夕食弁当購入、若手有志の見事な買出しに拍
手喝采でした） 東京駅20着時15分 解散。お疲れ
さまでした。



大間のマグロも堪能



旅の良しあしは @食に尽きる@



弁当購入の作戦はいかに



恐山 あの世の散策また楽し

子弟共演

第256回1月例会（1月12日で）



弟子

山手ロータリーのクラブ（ご来賓）桜井さんが前座をつとめた。

桜井さんは豆生田氏（参遊亭遊助）の弟子で賛友亭酔乱として活躍されています。

賛友亭酔乱様

私は翠嵐高校出身なので「すいらん」としました。立川志の輔が好きで、現代落語を目指して豆生田氏の指導をいただいている。現代といっても昭和も今や古典落語に。こうした前振り後に、いくつかの小噺を披露。（爆笑）



師匠

たくさんの履歴がある参遊亭遊助師匠は元横浜銀行の職員で学生時代（東大）からの噺家。横濱プロバス倶楽部の元会員。

参遊亭遊助様

プロバスで演じるのは3回目ですね。酔乱さんはオンラインで勉強している。覚えるのが早く一生懸命やっただいたいでいる。弟子は4人います。昨年8月に本所の会館で落語会を。80人ぐらい入った。2月12日も予定している。昨年はミャンマーで落語をやりました。高座は520回目、1000回には武道館でやりたい



加藤武先達（13回忌、本当は来年だが今年加藤夫人の13回忌なので一緒に法要をしたとのことでした）



死は凱旋である！

昭和13年5月4日（生）、2013年11月6日ご逝去、享年75歳、元全日本プロバス協議会会長、元横浜プロバス倶楽部会長。ボーイスカウト、横浜市役所職員として活躍した。ご令嬢・加藤ひとみさんも参加（前列右）。毎年命日に有志にて墓参。（松下）



**【1月例会】(第256回)
賀詞交換会**

令和6年1月12日(金) 参加人数31名(内訳 会員27名、ゲスト4名) 総合司会 加藤幹事
例会に入る前に能登半島大地震・大震災で被害を受けた方にお悔やみ申し上げ黙祷を行った。

一黙祷一

会長挨拶 新年例会ですが会長体調不良のため欠席です。皆さんによりしくとのこと。それでは保谷副会長から挨拶を明けておめでとうございます。ゲスト紹介 ロータリーの古谷会長、小野幹事、小野親睦委員長、桜井次期会長紹介
代表して古谷会長挨拶 明けましておめでとうございます。昨年は一年間お世話になりました。今年もよろしくお祈いします。

誕生月会員紹介 4名(保谷会員委員長) ■倉嶋(伸) 会員・・・あまりにもショック(能登地震)、日常生活が大事ということ、大切にしよう。自分も反省している。どうぞよろしく。■丹野会員・・・素敵なプレゼントありがとう。82歳、若い時と比べて、これからは一日一日、一年一年心身ともに頑張りますのでよろしく。■倉嶋(康) 会員・・・7年ばかり3時に起きて原稿を書き、フェイスブックに連載している。F a 作

家と呼ばれるように。題名は「少年と戦争」中国、日本、・・・陸軍幼年学校に入っの体験を・・・年内に終わるから最後まで生きていられるかと。■松下会員・・・私は傘寿の仲間入りです。一年一年頑張っています。一昨年行った「のと楽」から手紙が来た。数年間お客を受け入れられない、ホテル棟が全滅と。プロバスも五所川原で旅行は最後になるかも。昨年はいい年だった。(慶応義塾大学出身なので)慶応高校が甲子園100回大会優勝、慶応大学が6大学で優勝。今年もよろしく。

新年賀詞交歓会



開会挨拶 森山会員 今年には横浜プロバスの年。今年のカラーはブルー、ドジャースの大谷と一緒に、新紙幣1000円札の裏には横浜港の絵が使われていてセルビアンブルー。横浜プロバスのカラーの年です。今年にもぎやかに新出版をしましょう。乾杯の挨拶 岩城

関口会長からのメッセージ

皆さん2024年あけましておめでとうございます。新年早々能登半島で大きな地震がありびっくりしました。我々が2022年4月に移動例会で行ったところ、全部やられたということです。鈴木国彦さんがすぐに現地のホテルに電話をし安否を気遣っておりましたがかなりのダメージだったようです。今年には横濱プロバス倶楽部全員が参加できるような催し物をたくさん、皆さんから募集していきたいと思っています。(例えば例会終了後BBQ、日本丸見学の後公園で例会をやりましたが意外とスムーズにいきました。)どうかご協力をお願いいたします。本日は山手ロータリークラブより、古谷会長、小倉幹事、小野親睦委員長、次期会長の桜井さんが参加されています。ありがとうございます。また、本日のメインイベントで落語家の参遊亭遊助氏が一番弟子を伴って参加していただきます。いっとき楽しんでください。

会員 皆が元気でないと他を考えられない。プロバスはますます盛んになるため、先頭になる。今日は一息懸命来た。飲む気で来た。一乾杯一。

(宴会中、飛び入りで副会員の蒔蓄、岩城会員の「徳の貯金」の講話があり、更にアルコールも十分いきわたる中、遊助さん、酔乱さんが演台に上がる等、にぎやかで楽しい時を過ごした。)

月の歌 1月の歌「一月一日」 終わり近くなったので、富永カラオケ同好会世話人の指揮で全員合唱。閉会挨拶 保谷副会長
2024年1月の新年賀詞交換会が盛況の下に終了したことを述べて閉会の挨拶とした。



2024/6/14

第25回総会

新役員の皆様



関口会長

総合司会 加藤幹事から 本日は総会、懇親会が控えてますので、速やかな進行にご協力を。

会長挨拶 今日が最終会合の会長あいさつになります。例会に福島プロバスから3名参加されていますが、後程詩吟をやって頂きます。和気あいあいの会となればと思っています。

来賓として、懇親会の席には山手ロータリーから5名の参加予定となっています。

福島プロバスメンバー写真上から根本フク会長、高野久夫副会長、飯塚和子事務局長



おめでとうございます!!

令和6年度神奈川県
県民功労者表彰

岩城孝子会員＝全日本プロバスクラブ協議会副会長が(産業・経済分野9人中の紅一点)を6月12日受賞したことが披露された。

黒岩県知事とツーショット





保谷英雄会長



特別放談 馬頭琴奏者 田岡峰樹氏 (佐藤会員紹介)

第265回11月例会：2024年11月8日

(出席者) 保谷、持田、内山、森山、加藤豊、松下、富永、荻原、関口、関、樋口、渡辺昭男、大久保、佐藤、鈴木国彦、渡辺敏裕、丹野、松原、東野以上19名 (ゲスト) 田岡峰樹氏 (馬頭琴演奏)

【例会】司会 荻原幹事

保谷会長挨拶 本日は佐藤会員の紹介で、馬頭琴奏者の田岡さんに来ていただいています。私は以前にNHKの番組で聞いたことがあります、楽しみにしています。それから、11月4日に岩城会員の県民功労賞受賞祝賀会に参加してきました。200人程の参加で盛況でした。お孫さんから「お祖母さんのような立派な人になりたい」との言葉があり、本人は感涙していました。以上報告です。

誕生月会員紹介・10月も含む (渡辺昭男会員委員長) 10月誕生会員 (内山会員、持田会員)、11月誕生会員 (富永会員、森山会員、松原会員) 以上5名に記念品贈呈。

【挨拶】内山会員；先日亡くなった楳図カズオさんが、「恐怖は(病気の怖さも)生きる力」と言っていた。怖さも生きる力にして、これからも楽しく生きたい。持田会員；75歳、後期高齢者になった。これからもボウリングを続けて頑張りたい。富永会員；80歳までは(生きる)と思ってきましたが、81歳になった。あと1年おまけで生きます。森山会員；11月3日文化の日生まれです。松原会員；同じく文化の日生まれです。78歳。馬頭琴には縁があって、聞いている(後で話します)。

*開催に先立ち、松原会員から「馬頭琴とホームー

には1996年にモンゴルで出会って以来、縁があり親しくしてきた。素晴らしい楽器と唄であり本日楽しみにしている」とのコメントがあった。*佐藤会員から演奏者紹介された。



松原会員



馬頭琴ホームー
演奏の後も和やかな交歓が続いた





議事堂で福島副議長を囲んで記念撮影



展示物の丁寧な説明を受ける

横浜市役所新庁舎見学

4月12日（金）移動例会

松原会員の紹介により、公明党選出の福島直子副議長が直々に案内。事務局の本間職員他3名が同行して丁寧な説明を実施。聴覚障害者や車椅子利用者、親子も利用しやすいユニバーサルデザイン採用の傍聴席はじめ、議長席、市長席などの案内もして頂いた。「みなとみらい」が一望できるロビーで参加者全員の記念写真を撮影し、新設の市会図書室で見学終了となる。

議員席や議長席に座るなど各会員楽しみ、充実した見学会であった。

お忙しい中本当にありがとうございました。



傍聴席に座って

てんぼうのいいロビーでロビーで右端が福島副議長



熱心に説明に聞き入るメンバー



9月会員放談

商店街振興に汗をかく

渡辺敏裕会員



横浜市役所退職後、5年間インドセンターで仕事をしましたが、現在日印関係もウクライナ戦争で微妙な状況にあるので、この件はまたの機会にします。そこで、横浜市の仕事の中で、

経済局商業振興課長として、商店街振興を担当した時のことをお話ししたいと思います。以前は市内に500以上あった商店街が、当時ですでに300に減少していました。そこで横浜市商店街連合会のアイデアで、「100円商店街振興事業」を行いました。実施主体のNPOにより全国各地に拡大しました。店頭で100円商品を購入して入店すると、色々美味しいものなどをもらえる。また、「町ゼミ」と称してお茶の入れ方指南や商店街プロレスなどもしました。また、2011年の大震災時には商店街への支援要請がありましたが、出せるものがパナナしかないという経験をし、その結果、大量の日用品在庫のあ

る大手量販店と災害支援の協定を結びました。2011年の震災では、多くの経験をしました。仙台市宮城野区役所への応援出張時には、海岸通りの震災の現実を目の当たりにしました。また、横浜に戻った後、二本松市からの要請で、横浜市内でのイベントバザーに災害支援として二本松市物販出店などを行いました。私自身も含め、日常的には大手スーパーで買い物をすることが多いと思いますが、身近では北千住商店街、市内では六角橋、大口、横浜橋など面白い魅力ある商店街がまだたくさんありますので、是非皆さんにも活用していただき、商店街振興にご協力いただきたいと思います。(



2月会員放談

「岩手県のことも」

佐藤政男会員

みちのく、奥州の東北5県は全国の県面積の広さ10傑の中に入っている。岩手県と四国を比較すると四国のほうがやや広いが、岩手県は県の広さナンバーワンである。都道府県全体でも北海道に次いで2位となっている。岩手の名前前のいわれとして、昔、鬼が争いに負けて泣いて岩に手形を押したからと、メルヘンチックな話が残っている。

岩手には世界遺産平泉の藤原清衡造営中尊寺に国宝第1号の金色堂があり、橋野鉄鉦山、御所野遺跡と3つの世界遺産がある。

岩手が生んだ偉人などは、多種多彩で首相は5人、その他に国際人、学者、文学界、スポーツ界に人材を多く排出している。ちなみにスポーツ界は、大谷翔平、菊池雄星、佐々木朗希。

啄木派？ 賢治派？
啄木は明治45年（1912年）没・享年26歳、盛岡に記念館。賢治は昭和8年（1933年）没・享年37歳、花巻に記念館。宮沢賢治は明治29年花巻の質屋の長男に生まれ、森岡第一高校、花巻農学校に進学。本当の百姓になるため、30歳で農学校の教員をやめる。33歳で厳しい風土の耕作地に必要な石灰工場の技師になり、販売の拡大につとめた。35歳で肺炎に、



花巻にある宮沢賢治記念館（資料が充実している）

花巻へ戻る。37歳で死去。農化学者—岩手、日本農業の救世主と言われる。賢治の作品は生前2点の発表にとどまっている。「春と修羅」大正4年4月（1924）、当該作品は佐藤惣之助、草野心平など中央文壇で激賞される。「注文の多い料理店」大正13年12月。未発表の作品は、高村光太郎の進言で空襲を逃れ、戦後その尽力により世に発表される。





毎回盛大に開催されるBBQ大会（11月10日）



ボーリング同好会（10月25日）

いつまでも健康である為に、気の合う仲間と動いて、しゃべって、笑う

同好会報告 令和6年10月25日（金）集合場所の小田急線片瀬江ノ島駅改札口前に参加者5名（富永、樋口、加藤（豊）、渡辺敏）、持田）が集まり、江の島ボウリングセンターに移動してボウリングを開始した。1ゲーム目は加藤さんと持田が7フレーム目まで競り合っていましたが、その後、引き離して181点でリードした。2ゲーム目は持田がストライク、スペアーありで165点を獲得して2ゲームトータル346点でした。終了後、昼食を済ませてカラオケ会場に移動した。カラオケ会場では各自の持ち歌で大いに盛り上がった。（持田 記）



パソコン勉強会（9月18日）

大自然の中・富士山に見守られながらのプレーは格別だ



ゴルフ同好会（11月25日）

編集後記

▼今回の楽しかった旅行に 岩城会員、加藤道子会員、倉島ご夫妻からの賛助金がありました、誠にありがとうございました。（松下事務局長） ▼旅行中の協力者 持田幹事補佐、樋口会員、新人のBさん（渡辺敏裕会員）新幹線、バス内の飲み物の買い出しから、疲れたご婦人のサポート等特に盛岡駅の6分間の停車の間に松下、樋口、B（渡辺敏裕）、牧野添乗員が老

骨に鞭を打ち、駅下の売店に20人分の夕食弁当の買い出しダッシュをしたこと▼保谷会長・荻原はドアのところまで閉まらないように待機。このチームワークは横濱プロバスの歴史に残ります文書・荻原 幹事▼写真動画 情報委員。（追記）今回本人たちの了解の下に、渡辺昭男氏=Aさん、渡辺敏裕氏=Bさんと呼ばせてもらい混乱を避けました。

（情報委員・関口尚親）